

福山コンサル 連結売上3期連続増 長期・中期目標値 60億初年度で達成

福山コンサルタントは4日、2014年6月期決算説明会を開き、第3次長期プラン（14年6月期～19年6月期）に基づく経営計画などを明らかにした。14年6月期の連結売上高は61億4400万円、3期連続増加、16年6月期長期プラン中期の目標値として設定した60億円を初年度で達成した。

長期プランでは、19年6月期に連結売上高100億円の目標を立てている。プランに基づく基本スキームは、前半3年間の中期モードと、後半3年間の長期モードのデュアルモード方式により展開していく。

中期モードでは建設事業、環境、交通など既存6部門のコア事業の既存顧客の維持・拡大と新規顧客の拡大に努め

るほか、河川、事業マネジメント系、モニタリング技術など新規事業を展開し、建設コンサルタント事業の拡大・強化を図る。

長期モードでは、新たに民間顧客の獲得に努め、少子高齢化社会を見据えた高齢者への食事配達など、新ビジネスの展開を目指す。

中長期プランを支える組織運営に当たっては、製品別の全社横断組織を7月から稼働させており、各部門に事業部長を配置して、福岡、北九州、中四国、東京、東北の各地域に地域本部を設置し、PDC A（計画・実行・検証・改善）の連続により、全社目標の達成を目指す。

海外展開では、ベトナムで都市内物流システム改善、市場・ニーズ・関連法規調査の

ほか、防災・災害対策の準備を進めている。リニア中央新幹線をめぐっては、予備調査の時点から「地震時走行安全性」の解析を中心に担当しており、13年度までの受注額は累計で約2億5000万円に上っている。